

事業所における自己評価結果

事業所名		SEDスクール枚方長尾		公表日		2025年 1月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要と思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	●廊下や個室を使って集中できる環境を作る工夫をしている ●最大定員で行う場合、個別で机上の活動をするとき、集中できる工夫 ●施設基準は満たしているが人数によっては狭いと感ずることもある。活動の時間をずらすなど工夫はできていると思う	今後も継続して、職員間での連携を大切に利用児一人一人の活動スペースを確保して行けるように環境設定を整えていく		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	曜日によっては人数が足りないと感じる。土曜日など休みにくさを感じる（1人希望があると難しい）	職員体制を整えていくこと。また、今いる職員で連携を取りながら勤務にあたるようにする		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8					
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8					
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8					
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8					
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8					
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8					
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8					
	13 児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8					
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8					
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7					
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7					
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7					
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7					
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7					
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7					
	23 定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7					

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	実施したことはない	就学先への移行支援を保護者様に対して行っているため、就学先などと連携がとれるように関係性を作っていくたい。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	●実施したことはない。一対一の保護者会のみ ●保護者向けの勉強会など、学びの場の情報を得る機会が少ない	保護者会や保護者様も参加できるような勉強会を企画し、家族支援や対応力の向上を目指したい。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
保護者への説明等	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	●父母の会、保護者会、きょうだいの交流などはないが、保護者同士の交流は設けている ●こういったことを今後できるといいなと思う	今年は夏祭りを企画し兄弟を含め交流の場を持たせたが、保護者同士の交流の機会にはつながらなかったのて今後は作れるように企画していきたい
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	実施していない	スクール内だけになっているが、地域の住民を招待する規模の行事を行うことが難しいと感じる
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	定期的まではしていないと思われる	年に2回の避難訓練時の確認を今後も継続して行っていく
非常時等の対応	44	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	自分自身ももっと意識していきたい	研修等も行いながら、一人一人が危機管理をしていく意識を持つようにする
	45	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	46	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	47	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	7	拘束が必要な児がいない	拘束が必要な利用者が来るとも想定し職員全員で周知しておく